

# 熱心に、一生懸命に、 お客様と従業員の「想いをかたちにする」 “Heart & Hard” 企業 株式会社 広伸



本社外観(門真市)



## 株式会社 広伸

代表取締役：石川 裕 氏

本 社：門真市四宮 4-5-22

創 業：1970年 11月 (昭和 5年)

従業員数：95名

事業内容：プレス加工並び、溶接組立を主体とする製品、部品の製作及び組立

URL：<http://www.koshin-k.com/strong.php>

1970年創立の株式会社 広伸は、プレス加工や溶接組立を主とする門真市のものづくり企業です。そこでは時代の先端を走り、強みである“総合力”を武器に多種多様なお客様のニーズを満たすサービスの提供がなされています。今回は代表取締役社長の石川裕氏にお時間を頂戴し、ものづくりにかける信念や展望をお話いただきました。

### — 少量生産への移行、営業戦略の大転換、変革の歩みを経て

当社は 1970 年の創業より住宅用の金物の製造に携わっています。プレス加工ということもあり、当時は大量生産で部材製造を行っておりました。何しろ当時の住宅の販売スタイルは建売りが主流でしたので、大量生産方式の方が理にかなっていたのです。ですが 90 年代末から 2000 年代初頭にかけて次第に建売りからオーダーメイドに移っていきました。時勢の移り変わりに対応し、これまでの量産体制を捨て、少量多品種生産への転換を図りました。それに伴いいくつかあった拠点を一か所に集約し、現在の生産体制の基礎ができました。

そして私が入社してある程度自社の状況がわかるようになってから、営業のやり方にもメスを入れました。当時は、大口のお客様からの定期受注が売り上げの 8 割 9 割を占めるといふ依存度の高いリスクな利益体質でした。「このままではいけない、この大口のお客様が内製化したらどうするつもりなんだ？それなら一からやるしかない。」と営業戦略の大転換を決断しました。とにかく新規の顧客開拓を一意専心で行い、数社が売上の大半を占める状況から、利益を落とさずに、一社の売上げが多く

ても全体の 2 割程度となるよう、経営のリスク分散を行いました。実際に大口のお客様が社内内製に転換したことでその会社への売上が大幅に減少し、決断は間違っていなかったと感じています。

これまでも、これからも、つねに時代の変化を読み取りそれに合わせて変革を遂げてきた歩みがあったからこそ、お客様のさまざまな要望に対してフレキシブルに対応できる体制が整っているのではないかと自負しています。



### — “Heart & Hard” お客様の想いをかたちにする

当社は社内の合言葉として「Heart & Hard」を掲げています。この言葉には 2 つの意義があり、一つは「熱心に (Heart)、一生懸命に (Hard)」、一つは「想い (Heart) をかたち (Hard) に」というものです。

ただお客様の要望というのはまさしく十人十色であり、「熱心に、一生懸命に、お客様の想いをかたちにする

## 「強みと魅力あふれる生産基地を門真に」 「門真プラットフォーム」(KADOMA-PF)

「門真プラットフォーム」(KPF) は株式会社 広伸が幹事企業として運営する、ものづくり企業に向けた新たな形態のサービスです。2020 年に大阪府より承認を受け 2022 年 11 月にオープンした当サービスは、発注企業と受注企業のニーズを結びつける総合窓口として、企業様のものづくりに関するお悩みを解決いたします。特急で外注先を探したいなどのお悩みを持つ企業はぜひ KPF をご活用ください。また新規の顧客を獲得したいという場合も、KPF 参画企業としてご登録いただくことで引合いをご案内させていただきます。まずは下記 URL よりご相談いただければ幸いです。

URL: <https://pr.kadoma-platform.com/>



難いものです。しかし当社では、それがお客様のご要望であるならば「かたち」にできる体制が整っています。私は「輪をかけた多品種少量生産」と自称していますが、当社の製品の 8 割は 1 ロット 10 個以下の少量品です。

例えば、溶接工程に関してはロボットを導入、溶接工 1 人に対して 1 台のロボットを与え、「人と機械の協業」体制を作ろうとしています。ロボットで数のある製品の組み付けを行いながら、人が少量製品の組み付けを行うというラインを作ることで、「輪をかけた多品種少量生産」を実現していくつもりです。



### 一 従業員の想いもかたちに変える 家族に誇れる会社づくり

私は常日頃から「従業員が家族に誇れる会社づくり」を追い求めており、そのために設備投資が必要であれば即断即決で進めて参りました。

例えば電球を LED に変える、無線 LAN の環境を整える、女子トイレを

増設する、データをクラウド化する、全て従業員の働きやすさを考慮し、「まずはやってみる」を信念に取り組みました。

また、先進的なツールも積極的に導入しました。直近では社員にタブレット端末を貸与し、各従業員が今どの業務に従事しているかを見える化したことで、用事があるときにいちいち人探しをする必要がなくなり、ムダの解消につながりました。

03/28	2023/03/28	作業中	4/4引取厳守	18
03/28	2023/03/28	中断中	3/31引取→3/24引取	50
03/28	2023/03/28	作業中	3/31引取→3/22引取	15
03/28	2023/03/28	中断中	3/31引取→3/22引取	20
03/28	2023/03/28	中断中	3/31引取→3/22引取	15
03/29	2023/03/29	作業中	4/4引取→3/31引取	15
03/29	2023/03/29	作業中	4/4引取→3/31引取	14
03/29	2023/03/29	作業中	4/4引取→3/31引取	20
03/29	2023/03/29	作業中	4/4引取→3/28引取	30
03/29	2023/03/29	中断中	4/4引取厳守	70
03/29	2023/03/29	中断中	4/4引取→3/31引取	82
03/29	2023/03/29	作業中	4/4引取→3/31引取	25
03/29	2023/03/29	中断中	4/4引取→3/31引取	82

そのほかにも 3D CAD 導入による見積りの自動化なども行いましたが、やはり重要なのは、設備導入のコストや導入の手間で躊躇するのではなく、会社にとってそれが必要と考えたなら「まずはやってみる」、そして問題が発生したら一つずつ潰していくというスタンスであると感じます。

AI が進歩する昨今、従業員にはより人間らしい仕事をしてほしい、だからこそマンパワーを浪費するムダ作業はできるだけ省きたいという一心で改善を進めています。

### 一 広伸だからできる

#### 新たなサービスの取り組み

当社は単なるものづくり企業に留まらず、ものづくりを「想いをかたちに変えるサービス」としてお客様に提供しています。それは当社の新たな取り組みにも表れています。現在幹事企業として運営事務局を務めている「門真プラットフォーム」という、ものづくりに携わる企業と企業を結びつけるサービスです。22 年 11 月より開始され、ようやく最初の一步を踏み出した段階に過ぎません。ですがそれでも、さまざまなものづくり企業の想いをかたちに変える新たな事業として、地域ならびに製造業全体の活性化に寄与するものと信じています。ぜひ積極的にご活用ください。

当社はプレス・溶接を主な事業内容として標榜しているものの、それに限らず百社百様のお客さまのニーズに対してお応えできる用意ができております。もしお困りの事案がございましたら「想いをかたちに変える企業」株式会社 広伸に一度ご相談を賜れば幸いです。

### 一 貴重なお話をいただき、 誠にありがとうございました